

研究課題名	チルゼパチド皮下注の胃腸障害に関する予測因子の調査
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	チルゼパチドは臨床試験において主な副作用として胃腸障害が報告されています。しかし、実際に使用した人でどのような人に発現しやすいかについての報告は限られています。本研究ではチルゼパチド投与後の副作用の状況を調査し、投与開始時の患者背景を比較する事で、どのような人に胃腸障害が発現しやすいのかを明らかにすることを目的としています。
研究対象者	2023 年 1 月から 2025 年 2 月までにベルランド総合病院にて、チルゼパチドを処方された人
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 患者背景：年齢、性別、身長、体重、body mass index(BMI)、糖尿病罹病期間、収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍 薬剤：併用薬、チルゼパチドの投与量・投与日数 血液検査：Hemoglobin A1c(HbA1c)、アスパラギン酸-アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニン-アミノトランスフェラーゼ(ALT)、血中尿素窒素(BUN)、血清クレアチニン (Scr)、推算糸球体濾過量(eGFR)、中性脂肪(TG)、HDL コレステロール(HDL-C)、LDL コレステロール(LDL-C) 副作用は、診察記事の記載に基づき、胃腸障害（嘔吐、下痢、腹痛など）を主な対象とします。副作用発生日は記事記載日とします。
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2028 年 12 月
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究はベルランド総合病院および泉大津急性期メディカルセンター薬剤部で行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	ベルランド総合病院 薬剤科 氏名：北野 達哉
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 薬剤科 氏名：北野 達哉 メールアドレス：yakuzai@bh.seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）